

国際医療を担う専門部署の拡充と国際化への取り組み

国際医療支援室に医療通訳の新規採用 在沖縄米国海軍病院との連携促進

琉球大学病院

国際医療支援室の取り組み

当院は2020年度7月に「国際医療支援室」を新設して以来、外国人患者受け入れの環境作りを中心に行ってきた。

2025年1月に開業する予定の新病院では国際診療センター設立に向けて、当院の量的、そして質的なニーズを把握しながら、無理なく組織を拡充していく方針である。また、在沖縄米国海軍病院との連携について、安定的な公式合意を交わすことを目標とする。

オンライン研修会への参加

厚生労働省補助事業「外国人患者受入れに資する医療機関認証制度等推進事業」オンラインセミナー等に積極的に参加し、外国人患者受入れ整備について他病院と意見交換を行った。また県内病院とも外国人患者対応について、事例を聞いて情報交換することを行った。

院内英会話研修の実施

2022年度もクラス分けをしてオンラインで2週間に1回開催している。今回は定員以上の応募があり、職員の英語に対して意識が高くなっていることが伺えた。看護婦からの応募が多かったが、医師からの受講もあった。専門的な質問では個別にネイティブの先生が対応し英語力向上に努めた。

外国籍の未収患者数推移（2020年度～）

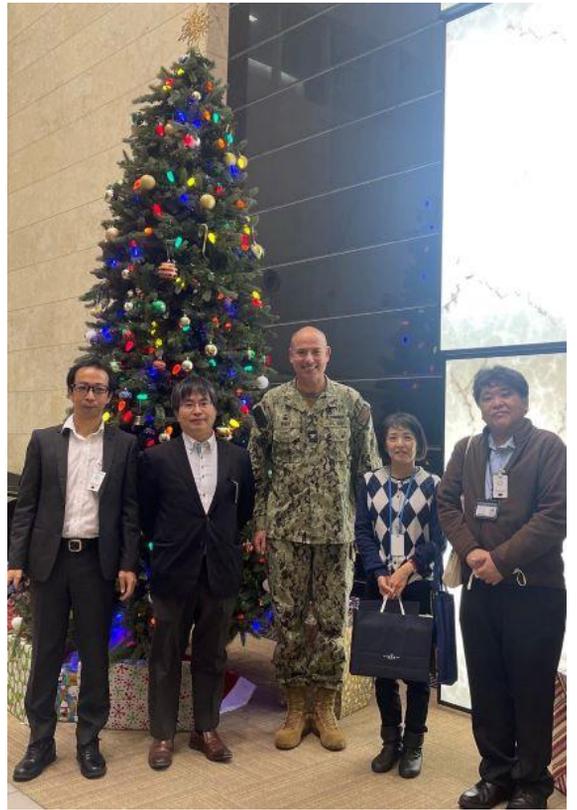
■診療費未収額

2023年3月3日現在

年度	患者数	金額		備考
		外来	入院	
2019(R1)	1	107,690		107,690
2020(R2)	0	0		0
2021(R3)	3	203,588		203,588
2022(R4)	1		4,120,604	4,120,604 ※保険会社審査中

■診療費債権放棄額

年度	患者数	金額		備考
		外来	入院	
2019(R1)	1	7,340		7,340
2020(R2)	2	4,278	0	4,278
2021(R3)	2	565	4,262,975	4,263,540
2022(R4)				年度末に手続き



海軍病院との連携促進

今年度も昨年度と同様に海軍病院との定期的な会議を行い、移転後の協力体制の強固のため意見交換を行った。病院間での交流の一環として当院の看護職員が海軍病院で職場交流することができ、お互いに現場医療について情報交換することができた。また国際医療支援室員と医事課の職員が、海軍病院担当のエスコートによる病院見学ツアーにも参加することができた。ロビーから案内が始まり、病室、ナースステーション、救急部等を見学して頂き器具や施設についても説明を受けた。双方で今後も、インターンやエクスターンを含めた交流をしていくことで意見が一致した。

もっと詳しく: <http://communit.skr.u-ryukyu.ac.jp>